

令和7年度(2025年度)「スクール読書チャレンジ運動」実践報告書

学校名	佐賀市立春日北小学校	児童数 523人
-----	------------	----------

I.取組前の宣言内容

宣 言	目 標	本にたくさんふれて楽しもう
	取組期間	令和7年（2025年）4月7日～令和7年（2025年）11月28日

II.取組後の評価

	<p>3本との出会いを生む図書館主体のイベントの実施</p> <p>① 宝箱の中に本を入れ、ヒントの言葉と手で触れた重さをたよりに、箱の中に何冊本が入っていつかを当てるイベントを学期に1回行った。誰もが簡単に参加できることから、1年生から6年生まで、全学年に人気があり、異学年同士で話し合って答えを探す光景も見られた。図書室へ出向くきっかけづくりとなった。【⑥】</p> <p>② 宝探しのように図書館の中に隠された絵や言葉を探す、「としょかんみつけ！」を企画した。利用が少ない本棚に隠すことで、普段は手に取らない本に关心を持つきっかけとなるように工夫した【⑦】</p> <p>③ 図書館のマスコットキャラクターを決めるコンクールを行った。児童にマスコットキャラクターを募ると、29作品の応募があり、この中から図書館に来館した児童に投票してもらいマスコットキャラクターを決定した。どの作品が選ばれるか関心が高く、全校児童の図書館への関心を高めることができた。結果の集計や決定したキャラクターをポスターにして、図書館や児童玄関など全校児童が目に付く場所に掲示する活動を図書委員が主体的に行った。このキャラクターカードを「としょかんまつり」の景品として使用し、「としょかんまつり」への関心も高めることができた。【⑧】</p> <p>④ 図書委員が「推し本総選挙」を企画した。図書館内で最も好きな本を図書館に来館した児童に投票してもらい、図書委員が集計し、全校のベスト3と各学年の1位を発表した。結果として意外な本が選ばれた学年もあった。投票した児童は330人にもおよび本への関心を高めることができた。【⑨】</p>
取り組んだ感想	<ul style="list-style-type: none"> ・本と親しむ経験をより多くの児童に体験してほしいという願いを込め、今年度も、多くの本と出会える場を工夫した。イベントで紹介した本や、図書館内に展示した本、読み聞かせをした本には、児童はすぐに興味をもち、貸出につながっていた。また、レファレンスに力を入れることで、本を紹介してほしいと気軽に申し出る児童が増えた。「この本どこにあります?」と司書や図書委員に尋ねる姿が多く見られた。 ・今年度は「マスコットキャラクターコンクール」や「としょかんみつけ!」「推し本総選挙」等のイベントで、今までと違った方向から図書館のPRをすることができた。様々な取り組みの導入により、「図書館って楽しい」と感じて、興味を持って来館する児童が増えたと実感している。その成果が、貸出総数とそれぞれの学年の平均貸出冊数ともに昨年の令和6年度よりも増加している結果に現れていた。【⑩】 ・令和6年度から、児童が図書館へ来館して実際に本を手に取る機会を増やすことが、より多くの児童に読書に親しむためには重要だと考え、様々な活動に取り組んでいる。この成果により4月から11月までの貸出総数では、令和6年度は令和5年度より7000冊以上も増加させることができた。今年度はこれをさらに増やすことができた。【⑪】
今後の取組予定 (令和7年(2025年) 12月～令和8年 (2026年)3月)	<ul style="list-style-type: none"> ・これからも児童とのコミュニケーションを大切にし、イベントや展示を通して、児童が安心して読書に親しむことができる図書館を心掛け、児童の成長につなげていきたい。今後は、読書内容という点にも重点をおいて、子どもたちの多様性を尊重しながら、すべての子どもが読書を楽しめる図書館の在り方を模索していきたい。

(1) 本にたくさんふれる環境づくり

① 図書館内の掲示



←としょかんの壁面を作り替え、図書館の雰囲気が明るくなった。【①】

入り口は季節に合わせて飾り付けをした。 →
思わず立ち寄りたくなる図書館を目指した。【①】



② 本の特集

特集コーナーの本には星のマークを貼り、ラッキーブックとして、借りるごとにスタンプを押している。
スタンプが溜まると貸出券をプレゼントしている。【②】



←季節の本は昨年同様、毎月紹介している。【②】

ノーベル賞受賞など、その時々の話題になった出来事に関連した特集を行った。【②】 →



←図書委員の
おすすめ
の本



←先生の
おすす
めの本

↑昨年も人気があった「としょいいんのおすすめの本」と「先生のおすすめの本」は、としょかんまつりに合わせて行った。今年も人気があり、いつも貸し出しされていた。

③リンゴの木



←【どくしょの木】貸出数
30冊、50冊、100冊、
150冊、200冊、300
冊、400冊、500冊と
増えるごとにりんごの色
が変わる。昨年度は700
冊まで増えた。【③】

(2) 本を楽しむきっかけづくり

① 家読



←家族と一緒に読書を楽しむことを目標とした家読。読んだ本の名前をりんごの中に書くようにした。【④】

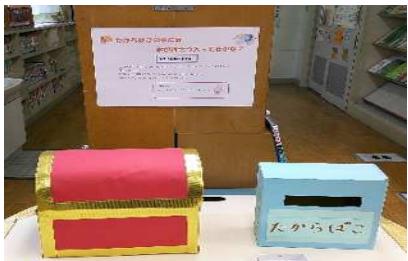
②授業のリーフレットの掲示



←図書館の中
に掲示することで他学年の
子どもたちも興味を持って
見ていた。【⑤】

(3) 本との出会いを生む図書館主体のイベントの実施

①宝箱の中の本の冊数を当てる



いろいろな学年の子どもたち
が協力して、何冊入っているか
考えていた。【⑥】 →



↑宝箱の形の箱を準備したの
で、どの学年も興味津々で参
加していた。【⑥】

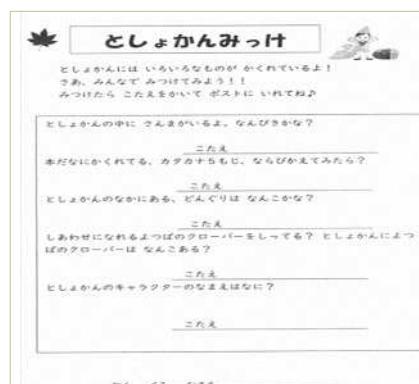


←ヒントをもとに、本を
持って来て重さから
冊数を考えている児
童もいた。【⑥】

②としょかんみつけ



←かくされ
た絵を探
す子ども
たち。【⑦】



←みつけの問
題は図書委
員が考えた。
【⑦】

③キャラクターコンクール

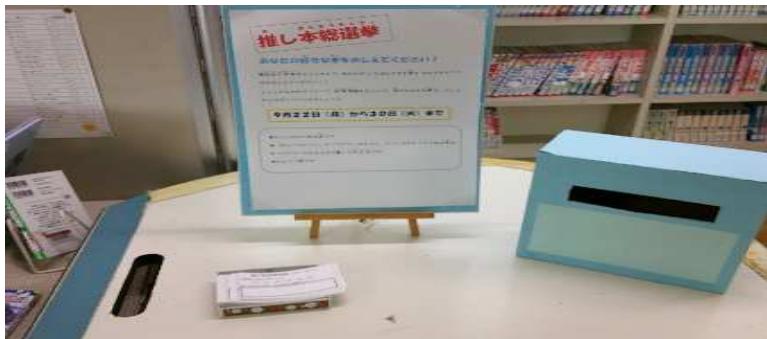


↑ 29作品の応募があった。【⑧】



← 255名もの児童が投票した。【⑧】

④推し本総選挙



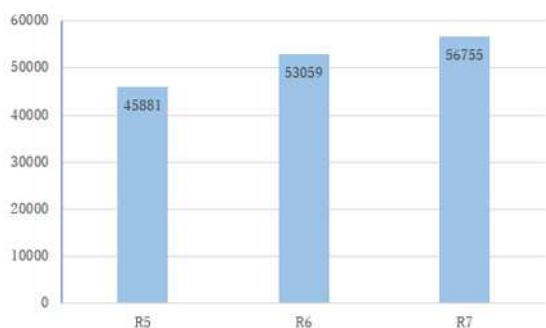
← 330名もの児童が投票した。

図書委員会で集計し、学年の1位と全校のベスト3位までを発表した。【⑨】

4月から11月までの貸出総数と平均冊数の比較

【貸出総数】【⑩】

	R5	R6	R7
総数	45881	53039	56755



【平均冊数】【⑩】

	R5	R6	R7
1年生	98.4	142.5	189.0
2年生	92.1	93.5	100.1
3年生	94.7	114.2	123.0
4年生	88.4	87.2	100.7
5年生	69.0	65.7	69.4
6年生	55.6	78.3	76.5
合計	82.4	96.1	108.5

